

# 県職 退職者こだま会 第34回定期総会議案



JR松山駅より市電で日本最古といわれる道後温泉へ (4月10日: 写真: 岩柳良雄)

## 今号の紙面

- ・ 総会案内 …………… ①
- ・ 総会議案 ……… ②～⑤  
2017年度経過・決算報告／同監査報告／2018年度方針案／同予算案
- ・ 会員の広場／パズル／お悔み …………… ⑥
- ・ こだま俳壇／歴史教室／予告／県職員9条の会平和の集い案内 .. ⑦
- ・ 旧陸軍登戸研究所跡地を訪ねて／絵手紙 .. ⑧

神奈川県  
職 労 連

退職者  
こだま会

# 第34回定期総会のご案内

—会場は昨年と同じ「県立市民かながわぷらざ」—



総会風景

- と き** 6月22日(金) 10時受付 10時30分開会～12時15分
- と ころ** 本郷台 あーすぷらざ<JR根岸線「本郷台駅」前>  
横浜市栄区小菅ヶ谷1-2-1 045 (896) 2121
- 神奈川県立市民かながわプラザ1階会議室

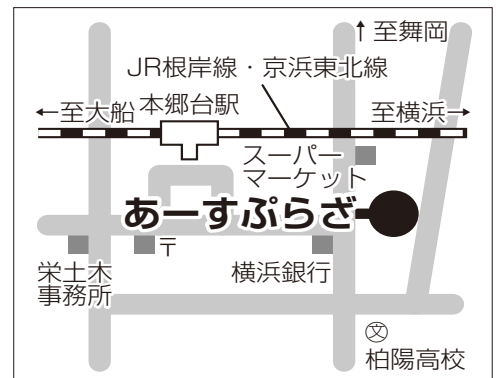
みなさん、いかがお過ごしですか。退職者こだま会第34回定期総会を開きます。毎年、たくさんの会員がつどいます。この1年をふりかえり、新しい運動方針をみんなで作っていきましょう。

## 総会終了後は懇親会で交流

総会終了後、12時30分から14時30分まで、総会会場内にあるレストラン「メルヘン」で懇親会を開きます。軽食をとりながら交流を深め、楽しいひとときをすごしましょう(会費2000円)。

なお、今年度の「長寿祝い制度」該当者(4月1日現在77歳)のみなさんは、招待させていただきます。

■出欠は同封のハガキで、6月4日(月) 必着でお願いします。



# 神奈川県職労連 退職者こだま会第34回定期総会議案

〈第1号議案〉

## 2017年度経過・会計報告

### この1年間の活動

今年度は、組織強化と文化レク企画、趣味の会などの活性化を重点に、役員の総力をあげて、積極的にとりくみました。また、各行事に新しい参加者が増えています。

#### 1 交流の場と仲間づくり

(1)「こだま企画」てく・テクの会  
「松代大本営、無言館&信州の鎌倉(別所温泉)バスツアー」(9月27~28日・24人)では、戦争遺跡「松代大本営」(象山地下壕)と戦没画学生慰霊美術館「無言館」を訪ねました。戦争の悲惨さと愚かさを肌で感じるツアーとなりました。

日帰り企画は、「築地散策とグルメ・買い物ツアー」(12月1日・14人)、「登戸研究所見学と戦跡を訪ねる」(3月29日・20人)を実施しました。  
(2)「趣味の会」のとりくみ  
各会とも継続して活発に活動しています。

#### ①歴史教室(講義・散策)

散策では、「三浦一族ゆかりの地元をゆく」(10月11日・15人)を森敏晴氏(三浦一族研究会)の案内で実施しました。

3月15日に総会と講義「歴史の裏

側から覗けば怨念からの脱出ー県北の郷土史から考察」(講師・金子信男会員)を実施。総会では新役員と年間計画を決めました。

#### ②俳句サークル「こだま句会」

毎月第2木曜日に定例会を実施。俳人協会の太田土男先生を囲み、それぞれ4句を提出し、研鑽に励んでいます。新たに句会に参加する会員が増えています。

#### ③食文化を楽しむ会(薬膳料理)

夏と冬の2回、亀井禎子会員の指導で実施。今年度は使用する会場の改装で夏の実施。「夏を乗り切る薬膳料理」(7月27日・9人)では「生姜ご飯」など6品をつくり、料理を食べながら懇談しました。

#### ④楽しい料理教室

「相模湾釣りたて魚の料理」(11月30日・11人)を飯塚武弘会員の指導で実施。獲れたての新鮮なカンパチなどの刺身、あら汁、ムカゴ入りのかやくご飯づくりに挑戦。包丁さばきなど料理の基本を学びました。

#### 2 福利厚生活動

(1)長寿祝い制度  
2017年4月1日現在77歳の46人が対象で、お祝いのギフトカードを贈り、総会後の懇親会に招待しました。

#### (2)共済・保険・人間ドック事業

火災共済などの共済事業に加え、2014年度から人間ドック事業を

導入し、定着と事業の拡大に努力しています。今年度も県内5医療機関(継続4機関、新規1機関)の協力を得ました。

#### 3 いのちとくらし、平和と民主主義を守る運動

(1)「戦争法」の廃止を求める行動  
2015年9月19日の「戦争法強行採決」から総がかり行動実行委員会と呼びかける「19日国会行動」などに毎月参加、当会から毎回10人前後の会員が参加しています。

#### (2)憲法改悪反対のとりくみ

「安倍9条改憲NO!3000万人署名」は、294筆(4月末現在)が集まりました。また、神奈川県職員九条の会と連携し、「平和のつどい」(12月2日)や「平和のつどい&総会」(6月2日)などに参加しました。

#### (3)民主団体(上部団体含む)との連携

全国自治体退職者会連絡会、神奈川県自治労連退職者会、神奈川県高年齢期運動連絡会に役員を送り、諸行動に参加しました。

#### ①日本高齢者大会(沖縄での大会は台風の影響で中止)

#### ②全国自治体退職者会連絡会総会

(8月26日、さいたま市、6人)。  
③神奈川県高年齢期運動連絡会主催の「第13回輝け!高年齢かながわのつどい in 三浦半島」(11月14日、5人)。

#### 4 争議の支援

(1)愛名やまゆり園・岩元克憲さん

の復職をめざすとおりくみ  
愛名やまゆり園・岩元克憲さんの復職をめざすとおりくみでは、「かながわ共同会の障害者差別を許さず岩元さんの職場復帰をめざす会」の諸行動に参加しました。昨年7月に勝利和解。10月に勝利集会を行い、会は閉会しました。

#### (2)鎌倉市政を市民と働く仲間に取り戻す会

「鎌倉市政を市民と働く仲間に取り戻す会」の行動提起にちなみ、県労働委員会・中央労働委員会傍聴などに参加しました。

#### 5 「手づくり文化祭」(神奈川県自治労連退職者会主催)への参加

横浜市従会館で10月28日に開催。参加者は250人を超える大盛況でした。当会からは、太極拳、ギター弾き語り、カラオケ、ウクレレ、フラダンスなど7人が出演。また俳句、川柳、書道、絵画、絵手紙、着物のリフォーム、ワイヤーアート、手づくり小物販売に21点の出品があり、交流を深めました。また、看護師による血圧・体脂肪測定(こだま会総会でも実施)は大変好評でした。

#### 6 会報・ホームページなどの充実

会報編集委員会は7人の体制で企画・編集を行い、新しい書き手の発掘など紙面の充実にとりくみ、年4回定期発行しました。総会報告掲載号の『せいかつ短信』は、会員相互の情報交換の場として活用されています。今年度から「会員のお悔やみ

(3面へ続く)



### 2017(平成29)年度一般会計収支報告

(2017年4月1日~2018年3月31日)

(単位:円)

(単位:円)

収 入			
項 目	予算額	収入額	摘 要
年会費	69,000	81,000	3,000円×27人
終身会費	300,000	373,000	25,000×13人他3人
県職労連交付金	616,500	616,500	
共済助成費	1,200,000	1,148,486	全労済事務取り扱等
雑収入	63,489	87,447	総会祝金・利息等
繰入金	550,000	550,000	積立金会計より
寄付金	4,000	0	
前年度繰越金	53,301	53,301	
合 計	2,856,290	2,909,734	

支 出			
項 目	予算額	支出額	摘 要
事務局費	350,000	376,216	事務局運営費
行動費	170,000	134,174	高齢者大会・自治労連関連
会報費	1,100,000	988,908	会報発行費
総会費	130,000	134,108	総会経費
会議費	460,000	421,800	幹事会・事務局会議費等
通信費	30,000	18,743	
長寿祝い金等	148,000	123,144	対象者46人
負担金	60,000	60,000	県退職者会・手づく文化祭
繰出金	300,000	373,000	積立金会計への繰出し
予備費	108,290	0	
次年度繰越金	0	279,641	
合 計	2,856,290	2,909,734	

〔2面より続く〕  
欄」やクロスワードパズルを掲載しました。ホームページは、行事予告など迅速な更新と内容の充実に努力しています。  
7 会員の拡大と会の運営  
(1)会員の拡大  
2018年3月末現在の会員は1304人(終身会員1230人、年会員74人)です。

### 2017(平成29)年度積立金会計収支報告

(2017年4月1日~2018年3月31日)

(単位:円)

(単位:円)

収 入				
項 目	予算額	収入額	摘 要	
前年度繰越金	15,972,330	15,972,330		
本年度収入	301,570	373,687		
内 訳	積立金	(300,000)	(373,000)	一般会計より終身会費収入分
	利息	(1,570)	(687)	
合 計	16,273,900	16,346,017		

支 出			
項 目	予算額	支出額	摘 要
本年度支出	550,000	550,000	一般会計へ長寿祝い金等
次年度繰越金	15,723,900	15,796,017	
合 計	16,273,900	16,346,017	

今年度から組織強化委員会を設置し、退職者説明会や支部の協力、会員同士のつながり、声かけ等を積極的にとりくみました。また、機関紙『神奈川県職労連』(2018年2月15日)に初めて「こだま会入会の案内」を掲載しました。  
(2)会の運営  
毎週火曜日(10時~16時)に事務局が交代で事務作業をし、四役・事

### 会計監査報告

#### 会計監査報告

2018年4月17日

神奈川県職労連退職者こだま会  
代表幹事 加瀬 文隆 殿

2018年4月17日、こだま会事務室において2017年度一般会計及び2017年度積立金会計について、それぞれの会計帳簿、収支証拠書類、預金通帳等監査を実施したところ、適正に執行されていることを認めます。

会計監査 谷村 寛 (印)  
会計監査 岩柳良雄 (印)

また、4月6日には「働き方改革」  
I 私たちをとりまく情勢  
1 国民のくらしと国政の動き  
(1)安倍政権の暴走と国民の運動  
安倍自公政権は、日本を「戦争する国」にするための法整備を強行してきました。そして、安倍首相は、「憲法9条に自衛隊の存在を書き込む」「2020年に新憲法施行をめざす」と9条改憲へ並々ならぬ決意を示し、自民党は「『9条の2』を新設し自衛隊を明記する」案をまとめ、今国会で憲法調査会に出そうとしています。

### 2018年度活動方針(案)

事務局会議(月1回)、幹事会(6回)を開きました。役員全員が専門部や.....  
〔第2号議案〕

趣味の会に所属し、運動の活性化をはかりました。  
一括法案を閣議決定し、国会に提出しました。その内容は、裁量労働制の対象拡大を削除したものの、高度プロフェッショナル制度(残業代ゼロ制度)を盛り込み、過労死ラインの長時間労働を容認する「働き方改革」となっています。  
しかし、憲法改憲反対・安保法制撤回、原発ゼロ、辺野古新基地建設反対等の国会行動・署名行動や全国各地での運動の広がり、そして今国会での「森友学園」をめぐる文書改ざん、「働き方改革」法案でのデータねつ造、自衛隊日報の隠蔽等、「国民主権と議会議院民主主義を壊す憲法違反の歴史的犯罪」、加計学園の「首相案件」文書に対する国民の怒りは安倍政権を追い詰め、内閣支持率は急落。いままさに、市民と野党の共闘の発展で憲法9条改憲と軍事費拡大、社会保障切り捨ての安倍政権を打倒するチャンスです。

原発事故から7年、未だに多くの福島県民が避難生活を強いられ、原発事故の収束も見通せていません。しかし、安倍政権は原発再稼働と輸出にまい進しています。  
原発事故以降、全国各地で草の根から粘り強い運動が継続し、「原発再稼働反対」は国民の多数派となっています。こうした運動を背景に、小泉、細川の両元首相や経済人が結

〔4面へ続く〕

〈3面より続く〉

集する「原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟」が1月に、稼働中の原発の即時停止・再稼働禁止などの法案骨子を発表し、立憲民主、共産、社民、自由の4党は「原発ゼロ」法案を共同提出しました。再稼働中止と原発ゼロの決断を迫る国民的な運動をさらに大きく発展させることが重要です。

(2)軍事費増大・社会保障切り捨ての2018年度政府予算

3月に成立した2018年度の政府予算は、軍事費が6年連続増の5兆1911億円、オスプレイ、ステルス戦闘機F35等の兵器の増強とあわせ長距離巡航ミサイル導入関連経費を計上し、護衛艦『いずも』のF35搭載空母化の調査検討を進めるなど、集団的自衛権、憲法9条改悪を見据えた軍拡予算となっています。

また、北朝鮮の脅威、テロ対策や東京オリンピック・パラリンピックを前面に押し出した危機管理・治安対策予算を増額しています。

その一方、医療・介護などの社会保障予算の「自然増」分は今回も1300億円削減され、安倍政権の6年間で1.6兆円もの大幅抑制です。とりわけ、生活保護費のさらなる削減を打ち出したことは、「格差と貧困」の是正を求める国民の声に背を向けるものであり、断じて容認できません。

この4月からは、多くの自治体で後期高齢者医療保険料や、65歳以上

の介護保険料等の値上げが行われ、10月からは生活保護費の最大5%削減が行われるなど高齢者の負担が増大する一方、年金支給額が据え置かれたままです。高齢者の生活保護世帯は毎年増加し、受給世帯の51.4%(2016年度)を占めています。

2 神奈川県政をめぐる動き

(1)「県民局廃止」等県組織再編をめぐる動き

2018年4月に行われた県組織再編では、「県民局」を廃止し、「福祉子どもみらい局」「健康医療局」「国際文化観光局」の設置、「フラワースタター大船植物園」への指定管理者制度の導入、「保健福祉大学」の独立法人化が行われました。とりわけ、「県民局」の廃止に対しては、様々な県民運動団体から「廃止反対」の陳情が出されましたが、不採択となり強行されました。今後、県民の権利や生活に関する施策を後退させないとりくみが重要です。

(2)2018年度当初予算にみる神奈川県政

2018年度当初予算一般会計は1兆8328億円余と17年度と比べると94.5%になりますが、県が負担していた教職員の給与負担事務(人件費)を政令市に移譲する税源1353億円を加えると、1兆9681億円余と、17年度を上回る規模です。

県民運動を反映し、私学生徒への学費補助を増額し、国に先行し年収590万円未満世帯の授業料実質無

償化や県立高校の耐震化の促進等県民の要望に応えるものもあります。「セレクト100」による企業誘致策、「リニア中央新幹線の整備関連」などの大企業支援や健康の自己責任・市場化を推進する「未病改善」「ヘルスケア・ニューフロンティアの推進」「人生100歳時代の取組み」など県民要求とかけ離れた施策が目白押しです。

一方、黒岩知事も形だけでは注目している国連の「SDGs」(持続可能な開発目標)に掲げられている「貧困や健康格差の是正、ディーセントワーク、ジェンダー平等など」や、核兵器禁止条約、非核・平和・基地もない神奈川県、脱原発、憲法を生かし、地方自治の充実を図るなどの県民生活にとって切実な課題が取り上げられていないことは問題です。

(3)県職員をめぐる状況

2015年7月に策定された「行政改革大綱」では、「量的削減を実施して、かなりのレベルまでスリム化が進んだ」「今後は、削減中心ではなく、質的向上に着目した改革を推進します」としています。

今年の知事部局の条約定数は36人減の7368人、配置定数は56人減の7308人ですが、県立保健福祉大学の独立法人化やフラワースタター大船植物園の指定管理者移行による実質削減分を考慮すると実質74人の配置定数増となっています。県立病院機構も、必要数2623人と昨年より32人増となっています。

神奈川県職労連が、長時間労働や不払い残業の解消に向けた残業調査等のとりにくみを強めたことにより、今年度は「時間外労働の多さ」が配置基準に加わるなど運動の成果が表れています。

今年度賃金確定では、4年連続の給与、一時金の引き上げと地域手当の引き上げの一方、国に準ずる退職手当の削減や55歳以降の昇給抑制が実施されました。

来年4月には知事選があります。県職労連と連携し、県民本位の県政実現、働きやすい職場づくりのとりくみを進めていく必要があります。

## II 活動の基本と計画

1 交流の場と仲間づくり

(1)こだま会企画「てく・テクの会」「満蒙開拓平和記念館と昼神温泉(長野県阿智村)バスツアー」(9月27・28日)や「グルメ散歩」「お花見ハイキング」等を実施します。

(2)「趣味の会」

「俳句サークル・こだま句会」「歴史教室」「料理教室」「食文化を楽しむ会」など、会員の趣味を生かした活動を応援し、充実をはかります。

(3)仲間づくり

会員の提案を積極的に受け止め、既存の趣味の会のほかにも交流の場を増やし、楽しく実りある活動にしていけます。

2 福利厚生活動

(1)長寿祝い制度

〈5面へ続く〉



第3号議案 2018年度予算案

2018(平成30)年度 一般会計予算(案)

(2018年4月1日~2019年3月31日)

(単位:円)

(単位:円)

収 入			支 出		
項 目	予算額	摘 要	項 目	予算額	摘 要
年会費	90,000	3,000円×30人	事務局費	380,000	事務局運営費など
終身会費	400,000	@25,000円×16人	行 動 費	180,000	高齢者大会・自治 労連関連
県職労連交付金	554,000		会 報 費	1,000,000	会報発行費
共済助成費	1,150,000	全労済事務取扱等	総 会 費	135,000	総会経費
雑 取 入	77,199	総会祝金・利息等	総 会 議 費	420,000	幹事会・事務局会議等
繰 入 金	330,000	積立金会計から	通 信 費	20,000	
寄 付 金	1,000		長寿祝い金等	164,000	対象者48人
前年度繰越金	279,641		負 担 金	60,000	神奈川自治労連退職者 会、手づくり文化祭
合 計	2,881,840		繰 出 金	400,000	積立金会計への繰出し (終身会費収入分)
			予 備 費	122,840	
			合 計	2,881,840	

2018(平成30)年度積立金会計予算(案)

(2018年4月1日~2019年3月31日)

(単位:円)

(単位:円)

収 入			支 出		
項 目	予算額	摘 要	項 目	予算額	摘 要
前年度繰越金	15,796,017		本年度支出	330,000	一般会計、長寿 祝い金等
本年度収入	400,700		次年度繰越金	15,866,717	
内 積立金	(400,000)	一般会計から、終 身会費収入分	合 計	16,196,717	
内 利 息	(700)				
合 計	16,196,717				

〈4面より続く〉  
今年度の対象者は77歳(生年月日1940年4月2日)~1941年4月1日)の48人です。お祝いのギフトカードを贈り、総会後の懇親会に招待します。

(2) 共済・保険・人間ドック  
有利で安心な火災共済、自動車共済、がん保険などの保険事業や人間ドック事業にとりくみます。

(3) 相談活動  
神奈川県職労連と連携して法律相談にとりくみます。また、会員の専

門性を生かして相談活動を行います。  
3 高齢者が安心して暮らせる社会へ  
医療・福祉・介護・年金制度の改善反対や消費税増税反対、脱原発などの国民的な課題については、「日本高齢者大会」「輝け高齢期かながわのつどい」などの集会や学習会へ参加し、署名などを呼びかけます。

4 県民本位の県政をめざして  
県は、「これまでの『行革』でスリム化が進んだため、今後は職員数や出先機関数の大幅な量的削減は厳

しい状況にある(行政改革大綱)としていますが、今後も県民の利便性を軽視した県有施設の切り捨てなどの「行革」に対しては、県職労連と連携し、会員による地域や団体でのとりくみを支援します。

また、県知事選挙にあたっては、争点や政策などについての広報活動につとめます。

5 いのちとくらし、平和と民主主義を守る運動  
(1)「戦争法」の廃止を求める行動  
「戦争法」の廃止を求める毎月19日の国会行動など、戦争法反対関連団体が主催する行動に積極的に参加します。また会員の参加を『会報』やホームページで呼びかけるなど「戦争法」廃止に向けて行動します。

(2) 憲法改悪反対のとりくみ  
安倍9条改憲など憲法を改悪する目論見に対して、神奈川県職員九条の会等と連携してとりくみます。

また、「安倍9条改憲NO! 憲法を生かす全国統一署名」(300万人署名)に続き、「安倍9条改憲NO! 全国市民アクション」などが主催する署名活動などに参加していきます。

(3) 民主団体等との連携  
全国自治体退職者会連絡会、神奈川県自治労連退職者会、神奈川県高齢期運動連絡会などの民主団体と協力して運動に参加します。

(4) 「鎌倉市政を市民と働く仲間に取り戻す会」への支援  
鎌倉市と議会による鎌倉市職労に

対する不当な攻撃(給与の激減緩和措置削除の議決など)に対して、「取り戻す会」に参加し、支援していきます。

6 「手づくり文化祭(神奈川県自治労連退職者会主催)」への参加  
毎年10月下旬に開催され、会員の趣味の発表の場であるとともに、他の退職者会との交流を深める場でもあります。多くの会員が出演、出品、見学できるように『会報』等で周知し、積極的な参加を促します。

7 会報、ホームページの充実  
(1) こだま会報  
5月・8月・11月・2月に定期発行し、会員が主人公の楽しくわかりやすい誌面を追求します。

(2) ホームページ  
イベント情報や行事の結果報告などを迅速に更新するとともに、会員が気軽に身近な話題や写真の投稿ができるようサイトの充実を図ります。

8 会員の拡大と会の運営  
(1) 会員の拡大  
県主催の退職予定者説明会や県職労連各支部・分会の退職予定者との集いなどで加入を呼びかけます。また、機関紙「神奈川県職労連」に入会案内を掲載するとともに、再任用・再雇用退職者や管理職退職者にも案内を送り、入会を促します。

(2) 会の運営  
毎週火曜日(10時~16時)を軸に事務作業を行い、四役・事務局会議を概ね月1回開催し、幹事会を会報発送日などに開催します。

### 会員の広場



◆初めてのメール  
宮原智江子  
『こだま会報』  
をいつも読ませて  
いただいています。  
初めてのメー  
ルで、クロスワー  
ドパズルの回答を  
送ります。

送ります。

◆楽しい文化・レク行事 小林 平治  
「築地周辺散策」に参加しました。

退職後、初めて参加し、楽しいひと  
ときを過ごさせていただきました。

これからも体調の許す限り、いろん  
な行事に参加したいと思っています。

◆笑みが溢れた絵手紙 三井 光子  
『こだま会報』を楽しみに読ませ  
て頂いています。特に奥津さんの「絵  
手紙」は人物描写が最高で、思わず  
笑みが溢れます。「築地周辺散策」  
や男性講師の「料理教室」、コラム「散  
歩道」の「2日間のドライブ」は、  
パワーを貰えるものでした。

◆生きがいある人生めざし 望月 有  
『こだま会報』、ありがとうござい  
ます。住みよい社会をめざして、充  
実した内容の記事、ありがたく読ま  
せていただきました。生きがいのあ  
る人生をめざして！

◆金子兜太さんを悼む 松尾佐知子  
いつも楽しく『会報』を読ませて  
頂いています。俳人の金子兜太さん

がお亡くなりになって、残念です。  
◆テニス・バド・審判で奮闘 廣田 茂  
毎日寒いですねー。今年はいつも  
以上に春が待ち遠しいです。昨年来  
ら後期高齢者医療制度の対象にな  
りましたが、いまのところお世話に  
なることもなく、テニス・バド・審判  
とがんばっています。

◆初めてのバズル応募 城所 和子  
いつも『会報』を楽しく読んでい  
ます。パズルに応募するのは初めて  
です。

◆文化の薫りいっぱい 仲戸川 実  
楽しいとりくみ、なつかしい会員  
の近況、文化の薫りいっぱいの紙面  
にいつも感心しています。

#### 〈お悔み申し上げます〉

2月15日以降、事務局で把握した  
亡くなられた会員です。謹んでご冥  
福をお祈り申し上げます。( )内  
は享年。



- 大谷 憲一 様 (85)
- 遠藤 勝利 様 (72)
- 濱野 辰子 様 (89)
- 小笠原 勇 様 (87)
- 泊瀬川 享 様 (91)

## クロスワードパズルで頭の体操

### ◇応募規定◇

- ①ヒント：2重枠に入った文字をAからEの順に並べてできる文字は？
- ②回答送付先：231-8588横浜市中央区日本大通り1 県庁舎6階神奈川県職労連退職者こだま会パズル係
- ③郵便葉書に答え、あなたの住所、郵便番号、氏名を記入し、6月15日までに上記②へお送りください。
- ④賞品：正解者から抽選で5人の方にクオカード進呈
- ⑤発表：次号(8月15日)
- \*119号の正解は「ハルチカシ」

カ	ラ	ツ	カ	ゼ
マ		ル	イ	
ク	シ		コ	チ
ラ	イ	ス		キ
	ン		ハ	ン

●当選おめでとう 抽選で次の5人の方にクオカードを進呈(敬称略)。城所和子/小林平治/廣田茂/宮原智江子/望月有

答	A	B	C	D	E
1	2	3		4	
5			A	6	7
	8		9		
10			11		
		12		D	13
14		E		15	B

係から：回答はがきの余白に、本紙についての感想や要望、身近な話題などひとことを。「会員の広場」欄などに掲載させていただく場合があります。匿名の場合は「匿名希望」とご記入ください。

- ヨコのカギ  
1 5月5日は？  
5 ごくわずかの差  
6 ♪命短し○○せよ乙女  
8 メロンの一種。果実は食用  
10 ○○転変  
11 花を生けるうつわ  
12 鰻・ドジョウ等を開き串に刺して焼いた○○焼き  
14 ○○○に腕押し  
15 牛・豚・鶏などの心臓
- タテのカギ  
1 数え年70歳。○○の祝い  
2 スポーツなどで失敗した仲間を励ます語  
3 手さぐりで探すこと  
4 航空機の種類。紙もある  
7 横綱の土俵○○  
9 生え出てまのないみずみずしい草木の葉  
10 西郷隆盛の銅像がある東京の○○公園  
12 『こだま会報』は年4回発行の季○○紙  
13 ♪○○が来れば思い出す：

こだま俳壇(4月)

ふきのとう採って食べなと床の姉  
 後藤 貞夫  
 春耕や野良着にこすり握手せり  
 小川 水草  
 見守りに照れる笑顔の入学児  
 瀧澤 正行  
 間のびした迷子の知らせ花の丘  
 田中 一男  
 春雷や付度国会叱咤する  
 角田 英昭  
 終活もままならぬまま桜散る  
 三井 光子  
 夕暮れの雨の気配や鯖焼く  
 島田多嘉子  
 若き日の父母もいた桜かな  
 友井 眞言  
 今は只余すことなく余花眺め  
 高橋 和江  
 公園の朝清掃やさわら焼く  
 本山 文子  
 花見酒格別うまし税還付  
 木村 武子  
 一本桜村の期待の応へけり  
 松尾佐知子  
 春嵐憲法論を聴きにゆく  
 鳥海 敏雄  
 花吹雪髪の間と間にとどまりぬ  
 中村 桂子  
 一片の桜の花を飲み干しぬ  
 白井保次郎  
 射干の花窓辺に鳥の糞の跡  
 井村 友彦  
 花冷の撫つれば髭のざらつける  
 講師・太田 土男

第65回 歴史教室 (講義)

県北の郷土史を学ぶ

県庁本庁舎6階会議室で3月15日(木)、第65回歴史教室(講義)を開催。当歴史教室顧問で、「相模原郷土懇話会」会員の金子信男氏から、相模原の郷土史についてお話を伺いました。参加者は講師を含めて12人。

講演のなかで、「平安時代末期に、町田市木曾にゆかりのある木曾義仲の父である木曾義賢が、源頼朝の兄である源義平に討たれている」、「相模原は水田ができない台地で、生産性が乏しく、藩ができる経済力がなかった。鎌倉時代は、草が多く馬の放牧で領地を維持した横山党、南部を領していた渋谷氏、あるいは内藤氏、青山氏などの小領主がいた。源頼朝の死後、鎌倉で『和田の乱』

がおこり横山党の領主全員が戦死したが、渋谷氏の一部は薩摩など西国に逃れている」という話がありましたが、町田市木曾はいまも残っている地名です。木曾義仲が町田にゆかりがあったという事です。また、「横山」は相模原市横山として、上溝駅の周辺の地名であり、「渋谷」は私の叔母が嫁いだ家で相模原には多い姓です。



金子信男氏の話しを聞く

講演のなかで出てきた武士の姓は、いまでもその地域に残っており、また、鎌倉街道は軍用道路で、この街道沿いで幾多の戦乱があり、多くの戦死者が出て、いまでも古淵の大日堂では念仏供養をしているということです。歴史はいまも生きていくと思ひ、大変興味深く聞くことができました。

講演後の懇親会には10人が参加し、アルコールも入り歴史談義で大いに盛り上がりました。次回は、5月31日に相模原の現地を歩きます。詳細は7面の「予告」欄をご覧ください。(S・T)

予告!! 予告!! 予告!!

- 歴史教室(散策)  
 と き 5月31日(木)13時30分~15時  
 集合 10時JR横浜線「古淵」駅  
 内容 県北の歴史を訪ねる(古淵・大日堂・龍蔵寺・椿稲荷神社など)  
 解散 JR「淵野辺」駅15時頃  
 講師 金子信男氏(当会歴史教室顧問・相模原郷土懇話会会員)  
 参加費 500円(資料代・講師料・保険料など)当日徴収  
 申込先 こだま会事務所045(212)43179
- 俳句サークル「こだま句会」  
 月例会(毎月第2木曜日13時~)  
 と き 6月14日(木)7月12日(木)  
 ところ 県庁本庁舎6階会議室  
 指導 太田土男先生(俳人協会)  
 会費 800円(投句のみ500円)  
 申込先 こだま会事務所045(212)3179
- 薬膳料理  
 と き 7月下旬予定  
 ところ 未定 会費 1800円予定  
 内容 夏を乗り切る薬膳料理  
 講師 亀井禎子会員  
 申込先 こだま会事務所045(212)3179
- てく・テクの会  
 と き 9月27日(木)~28日(金)  
 集合 小田急「海老名」駅東口企業送迎ターミナル(e-CAT)  
 内容 満蒙開拓平和祈念館と昼神温泉バスツアー  
 参加費 詳細は同封のチラシ参照

神奈川県職員九条の会「平和のつどい&総会」

- と き ●6月2日(土)13時受付 13時30分開会
- ところ ●横浜市健康福祉センター8階F会議室  
 (JR線・市営地下鉄「桜木町駅」下車徒歩5分)
- 総会 ●活動報告(13時30分~)
- 講演 ●安倍政権の「9条改憲」の実態一米軍と一体化する自衛隊(14時45分~)
- 講師 ●井筒高雄氏(元自衛官・レンジャー部隊)
- 資料代 ●500円
- 問合先 ●090(2473)2681(佐伯義郎・事務局長)



てく・テクの会

すぎし日はこの丘にたちめぐり逢う

てく・テクの会は3月29日(木)、明治大学生田キャンパスにある旧陸軍登戸研究所跡地を訪ねました。参加者は初めての参加4人を含めて20人でした。

旧陸軍登戸研究所跡地を訪ねる



登戸研究所資料館の前で

絵手紙



田中和子さんの作品



奥津弘久さんの作品



電波兵器、スパイ機材、生物化学兵器などの研究に1000人も小田急線の生田駅から10分ほど歩き、キャンパス内の弥心神社に着き、そこで登戸研究所資料館特別嘱託学芸員の椎名真帆氏から概要説明がありました。同研究所は、陸軍が秘密戦である防諜、諜報(スパイ活動等)、謀略(攪乱活動・暗殺等)、宣伝(人心誘導)のための電波兵器、スパイ機材、生物化学兵器、偽札製造、風船爆弾などを研究・開発するために1937(昭和12)年に設置し、最盛期は総勢1000人の大規模なものでした。



風船爆弾の縮小模型

秘密戦の

担い手は憲兵や陸軍中野学校の工員等で、ここで開発された兵器・資材は

人道・国際法上問題があるものが多く、一般にはその存在は秘密で、戦後も公式の記録は残されませんでした。

戦後数10年を経て跡碑を建立 弥心神社境内には、元所員有志が1988年に建てた登戸研究所跡碑があります。裏面には、「すぎし日はこの丘にたちめぐり逢う」という句が刻まれ、秘密であった研究所での生活が戦後数10年を経て再びこの丘に立ち、ようやく話し合うことが許されたという万感の思いが込められています。



生田緑地柘形山桜のスポット

概要説明の後、実験動物慰霊碑や当時の消火栓や倉庫跡(通称弾薬庫)を見学し、登戸研究所資料館で、組織の変遷・概要、風船爆弾、生物毒物兵器、スパイ器材、中国紙幣偽造などについて説明を受けました。風船爆弾は、約9300発が放球され、アメリカへの着弾はおおよそ

10%の約1000発とされ、被害はアメリカで6人が死亡、日本で放球時の事故で兵6人が死亡しています。偽札は、中国経済の混乱を狙ったが、戦争により中国発行の紙幣が膨大になり、偽札発行高は中国紙幣の1%未満で中国経済に与える影響は小さかった。

戦争を始めることが

一番無駄で愚かなことですが、それに伴って正常な理性を失い、さらに愚かなことを積み重ねてしまうのが戦争です。

昨秋の、てくテクの会のバスツアーで行った松代大本営も壮大な無駄でしたが、登戸研究所も、風船爆弾、電波兵器、偽札製造など莫大な予算を使って、効果のない愚かな研究をしたのではないかと、いう感想を持ちました。

(友井眞言)